

アートによる長和町活性化事業

業務委託活動報告書

令和6年度

令和 6年度「アートによる長和町活性化事業」事業報告書

作成：コーディネーター 早瀬仁美

1. 本事業の目的

本事業の目的は長和町がアート・デザインの力で地域の活性化を行うことにあります。

女子美術大学の学生のデザイン力や発信力を活用し情報発信等により町の活性化を目指します。近年、大学の社会貢献が求められており、女子美術大学が教育機関として、地方自治体とともに地域の活性化を目指す事業を行うことは重要な意義があります。長和町の「アートによる長和町活性化事業」に取り組むことは、そうした社会貢献活動の一環の事業として女子美術大学内で位置づけられています。このような背景を踏まえ、包括連携協定を結ぶことで本事業の安定的実施を目指します。

2. 本年度事業の目的

今年度は、包括連携協定締結に向けて長和町と女子美術大学で引き続き協議をしていながら、長和町でのフィールドワークを通じて、年度内で完結する実践的な成果物の制作を目標としました。長和町に貢献できる事柄、同時に大学にとっても有意義な活動を洗い出し、アートやデザインの力を発揮して形にしていくことで、継続した活動を通じた協定締結への準備を目的としています。

3. 今年度の事業概要

今年度は、長和町の道の駅等で販売される特産物に着目し、購買意欲促進や地元の活気を盛り上げる目的で、商品に貼付するシールを作成しました。女子美術大学の学生2名により、フィールドワークを通じたデザイン制作を実施し、関係者に向けて贈呈式を行いました。

(1) 活動記録

■5月8日（水）

- ・長和町職員による女子美術大学 杉並キャンパス視察
- ・女子美術大学対応：地域連携推進室

■10月3日（木）

- ・長和町職員による女子美術大学 相模原キャンパス視察
- ・女子美術大学対応：地域連携推進室

■12月19日（木） - 20日（金）

- ・コーディネーターによる長和町訪問
- ・各場所のリサーチを通じて本年度の活動実施対象を調査
- ・長和町職員とコーディネーターによる意見交換会

■2月6日（木） - 7日（金）

- ・女子美術大学 学生2名、教員1名、コーディネーターによる長和町訪問
- ・活動実施対象（道の駅等）を調査
- ・長和町内でデザインのためのフィールドワーク

■3月7日（金）

- ・シールデータ納品

■3月20日（木） - 21日（金）

- ・女子美術大学 学生2名、教員1名、コーディネーターによる長和町訪問
- ・シール贈呈式

(2) オリジナルシール贈呈式

長和町×女子美術大学「アートによる長和町活性化事業」

オリジナルシール贈呈式

日 時：令和7年3月21日（金）15：00～

場 所：役場本庁舎1階 町民ホール

1. 開 式

2. デザイン制作学生・担当教員・コーディネーター挨拶、発表

女子美術大学 アート・デザイン学科 メディア表現領域 3年 小俣 由菜

女子美術大学 アート・デザイン学科 メディア表現領域 3年 松永 南美

女子美術大学 アート・デザイン学科 メディア表現領域 准教授 首藤 圭介

「アートによる長和町活性化事業」コーディネーター 早淵 仁美

3. 目録贈呈（記念撮影）

4. 町長挨拶

5. 来賓挨拶

JA信州うえだ農業協同組合 よだくぼ南部地区営農課 農業政策事務局 羽田 晃 様

長和町農産物直売所 和田宿ステーション 店長 槇島 芳明 様

6. 閉 式

<贈呈式の様子>





(3) 制作物（店内POP用のデータにて）

▽制作：小俣由菜

長野県長和町 × 女子美術大学
地域おこしプロジェクト2025

長和町シール
大好評貼付中!!!



実際のシールのサイズは4cmと2cmです。

美しい風景を切り取りました！

長和町のシール

デザイン担当
3年 小俣由菜



長和町は、美しい景色で溢れている！！

2025年2月に初めて長和町に訪れたときに、何気ない日常の景色がとても美しいところだと感じ、風景をシールにしたいと考えました。コンセプトは、「この町にしかない情景の美しさを外から来た人だけでなく、ここで暮らす人にも伝える」さらに「購買意欲をあげるデザイン」と考えました。

シールデザインのこだわりと込めた想いについて

2つのシールを組み合わせるデザインです。黒曜石型のシールに「ほしくそ」と呼ばれることを知り、星座を加えています。正円のシールは風景をグラフィック的な要素で構成することでオシャレなデザインを目指しました。長和町の魅力を再発見できるものになっていたら幸いです。

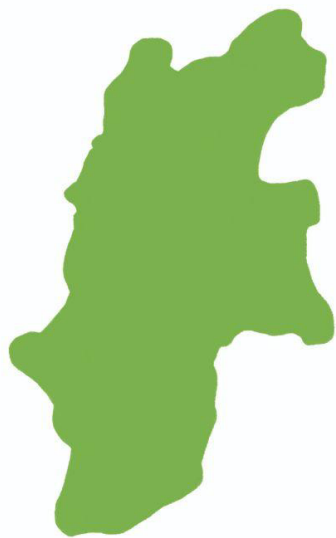


4種類作りました！

長野県長和町 × 女子美術大学 地域おこしプロジェクト 2025

長野県の形をしている!?

ちゃんちゃんこを着た Dancing おじさん



デザイン担当
3年 松永

長野県シールを作るにあたって改めて地図を見たときに、長野県の形がちゃんちゃんこを着たおじさんが踊っている姿に見えたのです。そこで生まれたのが、赤いちゃんちゃんこを着た Dancing おじさんです。

実際、長野県長和町の住民の方はおしゃべりで陽気な親しみやすい人ばかりだったので、「この Dancing おじさんは長野県を象徴するにピッタリじゃあないか!」ということで採用しました。県外から来た人には目新しく写り、長野県に住んでいる人には馴染みやすい。そして長く使ってもらいたい、という想いをこめてデザインしました。

緑色の背景には、昨年の夏に友人と長野旅行に来たとき、運転免許がないけれどもどうしても美ヶ原牧場の牛が見たくて、レンタル自転車で緑しかない山道を汗だくで登ったという思い出を詰め込みました。(とても良い思い出...)

Dancing おじさんのように長野県でのびのびと陽気に育った農産物にこちらのシールを貼っていますので、ぜひお手にとっていただけると嬉しいです!



長野県シール
大好評貼付中!!!

※実際のシールの大きさは4cmと2cmです。

大好評貼付中!!

羽田町長の

すてきな1日になりますように。シール



※実際の大きさは4cmです。

★シールを作る上で考えたこと★

こちらの羽田町長シールは、企画シールとして作らせていただきました。

わたしはサーティワンアイスクリームでアルバイトをしております。「すてきな1日になりますように。」と書いたシールを紙袋やカップのフタに貼ると、お客さんがすごく喜んでくださるんです。お客さんが喜んでくれると、売り手の私も嬉しい。せっかくシールを作るのなら、お客さんがこれからも買いたいと思ってくれて、売り手にとっても幸せなひと手間になるようなものが作りたいという想いをこめて今回長和町バージョンの「すてきな一日になりますように。シール」を企画し、デザインさせていただきました。

羽田町長をアイコンにさせていただいた理由は、住民や町役場で働く方々に本当に愛されているのだなと感じたからです。

私自身、実際羽田町長とお話をさせていただいて良い意味で町長らしくない、親しみやすい近所のおっちゃん感がありました。(羽田町長からカルピスバターアイスをいただいたのですが、あれすっごいおいしいですね。普通に買うと高いけど...)

また羽田町長の笑顔は、人を元気にする力がありご利益もある(と思う)ので、

羽田町長シールが貼ってある商品を手にとってくださった方にはウルトラ特大ハッピーなことがあります!!!

デザイン担当 3年 松永



（４）来年度の事業展開

包括連携協定締結に向けて引き続き具体的な活動を行なっていきます。本年度で行った活動のように、具体的な実践と成果物の作成等を行っていき、連携協定に繋げていくことを目指します。来年度では国が実施している地域と大学の活動支援等を視野に入れ、他の大学との連携も可能性を探りながら有意義な協議を行っていきます。